

受付番号

22

承認番号

大歯医倫 第 110863 号

研究課題名

高齢者のデンチャープラークの付着状態

研究責任者

柿本 和俊

申請者

上村 優介

所属

高齢者歯科学講座

所属

歯学研究科 高齢者歯科学専攻

職名

講師

職名

大学院 1 年生

申請の概要

2015 年現在、日本の高齢化率は 25% を超え、超高齢社会となっている。8020 達成者の割合は増加しているが、義歯を使用している高齢者は非常に多い。高齢者、特に要介護者などでは義歯の清掃状態が不十分であると、デンチャープラークが形成されカンジダ菌やストレプトコッカス菌の温床となり、そのためにデンチャープラークが原因で、口臭、義歯性口内炎、さらには誤嚥性肺炎が発症することも少なくない。

そこで、本研究では、本学附属病院高齢者歯科に来院中の義歯を装着している患者を対象として、デンチャープラークの付着しやすさを、義歯の材質、形態および清掃状態ならびに口腔内環境および全身の状態等から検討するとともに、清掃方法をはじめとしてデンチャープラークを効果的に減少させる方法について検討する。

本研究によってデンチャープラークの付着しやすさが何に起因するかを明らかにするとともに、効果的にデンチャープラークを減少させる方法を明らかにすることができれば、口臭、義歯性口内炎、誤嚥性肺炎の予防、およびそれらの予防に適した新たな義歯の開発が可能になると期待される。